

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023. 2. 24

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日) (雨天は小雨でも中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2023年3月、4月の石神井川観察は、3/9(木)、3/24(金)、4/13(木)、4/28(金)
9:30JR 社宅前街路の観察 10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

ちいさい春見つけた...



車道の縁石と遊歩道の敷石の隙間から顔を出しているのはミチタネツケバナ(開花)、スズメノカタビラ(開花)、オランダミミナグサ、フラサバソウ、ハコベ、オオバコ(のようなもの)の6種の野草。左右15cmほどの世界。写真は実物の約1.2倍。足元の小さな春です。

↓ウメの木には普通はメジロが多いのですが「ウグイスじゃ



ないか」とお仲間の木邨さんが指さしました。

「梅に鶯」って本当にあるんですね。これは珍しい。写真右はノイバラの新芽。ここにも春。



野草たち 支え合って生きる



左から①背丈が高いユーリシスオプ

スデイジーの茂みに中にカラスノエンドウが咲き、②別の場所では、そのカラスノエンドウに囲まれてアメリカフウロが咲き、③アズマネザサの茂みの中ではヒメオドリコソウが咲いていました。この3種の花は、背丈の高い草が寒さよけとなって守られて、他の場所よりも一足早く開花したと思われます。すべての生き物は互いに依存しあって生きているということを現した考え方が「生物多様性」ですが、この3枚を生物学上での生物多様性と言うのかどうかは分からない（多分、違う）のですが、お互いに支え合って生きていることは確かです。

加賀橋⇄金沢橋間で桜の太い幹が軒並み枝落としされてきました。老木になって枝先が枯れているのが目立ってきていたので「若返り策」かもしれませんが、ソメイヨシノは寿命があるので管理は大変です。→



最近、出かけた講演会、これから開催される映画会

2/19 エコポリスセンター主催の「自然を守る」をテーマにした講演会で埼玉県生態系保護協会事務局長・前田博之氏のお話を聴きました。特に感銘したのは前田氏のSDGsの捉え方でした。

SDGsについての大方の捉え方は、その17の課題を1つか数個バラバラに担っていることで足りりとしている風潮があり、他方で商業的な立場からSDGsを事業に取り組む企業・機関もあり、そのほうが活発に取り組んでいるような気がします。いずれの取り組みを見ても、この17項目を経済・社会の仕組みの全体構造として捉える考え方は希薄です。本来は17の課題のすべてがつながり合っているものなのですが、この日の講演で前田氏は、14および15番目の課題、つまり海と陸の自然を取り戻すという課題は人間（生物）の生存基盤を保護・回復することなのだから、ほかの15の課題の基礎をなす課題として、すべてに共通するテーマと考えるべきだと力説なさっていました。わが意を得たり！ でした。

3/21には「原発を止めた裁判長」の映画上映会あり

マスコミでも話題になった福井原発の運転停止命令を下した福井地裁裁判長樋口英明氏のドキュメント映画。ご本人が来演されます。3/21 板橋区グリーンホールにて12:30開場、13:15上映、参加費1,200円

『Tomorrow パーマネントライフを探して』という映画

2/9号で紹介した映画ですが、ネットでも観られます。下記のURLで検索してみてください。

[https://www.amazon.co.jp/TOMORROW-パーマネントライフを探して\(字幕版\)-メラニー・ロラン/dp/B0756MVNYZ](https://www.amazon.co.jp/TOMORROW-パーマネントライフを探して(字幕版)-メラニー・ロラン/dp/B0756MVNYZ) レンタル版400円